

CASBEE-建築(新築)2014年版
経浜旅客待合所立体駐車場新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								1.9
Q1 室内環境								
1 音環境		-	-					
1.1 騒音		-	-					
1.2 遮音		-	-					
1 開口部遮音性能		-	-					
2 界壁遮音性能		-	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-					
1.3 吸音		-	-					
2 温熱環境		-	-					
2.1 室温制御		-	-					
1 室温		-	-					
2 外皮性能		-	-					
3 ゾーン別制御性		-	-					
2.2 湿度制御		-	-					
2.3 空調方式		-	-					
3 光・視環境		-	-					
3.1 昼光利用		-	-					
1 昼光率		-	-					
2 方位別開口		-	-					
3 昼光利用設備		-	-					
3.2 グレア対策		-	-					
1 昼光制御		-	-					
3.3 照度		-	-					
3.4 照明制御		-	-					
4 空気質環境		-	-					
4.1 発生源対策		-	-					
1 化学汚染物質		-	-					
4.2 換気		-	-					
1 換気量		-	-					
2 自然換気性能		-	-					
3 取り入れ外気への配慮		-	-					
4.3 運用管理		-	-					
1 CO ₂ の監視		-	-					
2 喫煙の制御		-	-					
Q2 サービス性能			0.43					2.4
1 機能性		2.4	0.40					2.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性		-	-					
2 高度情報通信設備対応		-	-					
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30					
1 広さ感・景観		-	-					
2 リフレッシュスペース		-	-					
3 内装計画		1.0	1.00					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	1.00					
2 維持管理用機能の確保		-	-					
2 耐用性・信頼性		2.6	0.30					2.6
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.22					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.22					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.11					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.22					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.22					

2.4 信頼性				1.2	0.20			
1	空調・換気設備			1.0	0.20			
2	給排水・衛生設備			2.0	0.20			
3	電気設備			1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法			1.0	0.20			
5	通信・情報設備			1.0	0.20			
3 対応性・更新性				2.4	0.30			2.4
3.1 空間のゆとり				2.2	0.30			
1	階高のゆとり			1.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	140.8 / 1129.43 = 0.12466...		4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30			
3.3 設備の更新性				2.1	0.40			
1	空調配管の更新性			-	-			
2	給排水管の更新性			2.0	0.29			
3	電気配線の更新性			3.0	0.14			
4	通信配線の更新性			-	-			
5	設備機器の更新性			1.0	0.29			
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.29			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57			1.5
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30			1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上				1.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-			3.4
LR1 エネルギー				-	0.40			4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制					-			-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.13			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.16 住宅(専有部) 0.83		5.0	0.63			5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI 0.16		5.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)					-			
4 効率的運用				3.0	0.25			3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00			
4.1 モニタリング				3.0	0.50			
4.2 運用管理体制				3.0	0.50			
集合住宅の評価					-			
4.1 モニタリング					-			
4.2 運用管理体制					-			
LR2 資源・マテリアル				-	0.30			2.7
1 水資源保護				2.2	0.20			2.2
1.1 節水				1.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60			2.8
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-		1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体 + 軽鉄 + ホード 鉄骨接合部:ボルト接合		5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	1.00			
3.2 フロン・ハロンの回避				-	-			
1 消火剤				-	-			
2 発泡剤(断熱材等)				-	-			
3 冷媒				-	-			
LR3 敷地外環境				-	0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮		排出率 56%		4.7	0.33			4.7
2 地域環境への配慮				2.3	0.33			2.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器 使用せず		5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善				1.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.3	0.25			
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.33			
2 汚水処理負荷抑制				-	-			
3 交通負荷抑制				3.0	0.33			
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.33			
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33			2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			
1 騒音				3.0	0.50			
2 振動				-	-			
3 悪臭				3.0	0.50			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40			
1 風害の抑制				3.0	0.70			
2 砂塵の抑制					-			
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30			
3.3 光害の抑制				1.6	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				1.0	0.70			
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			